

健全で豊かな森林づくりプロジェクト 自己評価シート (5年間の総括)

プラン名	よみがえれ銘柄材産地「東濃松の里・美濃白川」森林再活性化プラン			作成日	25 年 4 月 26 日		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> JV	所属	白川町森林組合	記入者	澤田卓朗	
プロジェクトの概要	<p>白川町は、地域銘柄材「東濃松」の主要産地であるが、これまで白川町森林組合として素材生産事業を積極的に取り組んでいなかった。今回、「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」事業に取り組むことで、保育型事業体から林産型事業体へとシフトを図り、間伐が遅れている地域を含めた町内全域に団地集約化の流れを作ると共に、地域材の安定的な生産にむずびつけることで、「東濃松の里・美濃白川」の復興に向けた契機としたいと考え取り組んだ。</p> <p>プロジェクト当初の2ヵ年間は大規模所有者の森林および隣接森林からなる団地において、作業路等の高密路網整備と高性能林業機械の導入により新しい作業システムを定着させ利用間伐を推進する。3年目からはこれらの実績により白川町内の森林所有者を対象に現地説明会を開催して団地集約化を広げる。また作業のさらなる効率化のため作業システム定着状況に応じ、新たな高性能林業機械をリース等で導入し作業システム更新の検討を行う。一方で搬出材は地域銘柄材として東濃ヒノキ白川市場を核とした流通の多様化を図り地域木材生産業の再活性化を目指す。</p>						
	事業期間 平成 20 年度 ~ 平成 24 年度 (5 年間)						
事業実績	成果指標		単位	事業計画 (5年間の総計)		事業実績 (5年間の総計)	
				計画		実績	
	①	施業集約化	ha	240.00		513.00	
	②	植栽	ha	5.00		0.57	
	③	下刈・除伐	ha	6.00		0.91	
	④	切捨間伐	ha	19.00		71.89	
	⑤	利用間伐	ha	168.00		118.39	
	⑥	主伐	ha	0.00		0.00	
	⑦	作業道開設 (延長) w= 3.0 / 3.6 m	m	21,500	0	13,528	0
	⑧	作業道開設 (開設コスト) w= 3.0 / 3.6 m	円/m	1,400	0	2,000	0
	⑨	木材生産量 (モデル団地内)	m ³	10,700		5,477	
	⑩	木材生産量 (モデル団地外)	m ³	0		10,969	
	⑪	木材生産性 (選木・伐倒・山土場への集材まで)	m ³ /人日	6.00		4.27	
	⑫	木材生産コスト (算出工程は、同上)	円/m ³	8,400		9,000	
	⑬	高性能林業機械	台数	0 台 → 2 台		0 台 → 4 台	
	⑭	林産技術者数	人数	2 人 → 4 人		2 人 → 5 人	
	⑮	林産班のチーム数	チーム数	0 チーム → 1 チーム		0 チーム → 1 チーム	
	⑯	森林施業プランの実施	有・無	有		有	
	⑰	森林施業プランナーの養成	人数	0 人 → 2 人		0 人 → 2 人	
	⑱	森林所有者への平均利益還元額 (補助金含む)	円/m ³	3,000		5,922	
	⑲	各種研修会等の開催	回数	-		7	
	⑳	研修・視察等の受け入れ	回数	-		38	
	㉑	地域への周知 (森プロのPR等)	回数	-		15	
(22)							
(23)							
(24)							
(25)							
(26)							
(27)							
(28)							
(29)							
(30)							
(31)							
(32)							
補足説明							

【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点		3点	2点	1点
1 達成度	プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
	進捗管理（定点観測等）は実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されなかった
	【プロジェクトの総括自己評価】			
配点		3点	2点	1点
	プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
	進捗管理（定点観測等）は実施されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	補足説明 集約化施業及び間伐面積については、計画どおりに実施することができた。しかし、作業路開設距離及び素材生産量については、団地外の要望量増加のため、計画量に達しなかった。又、生産コストについても造材機械の導入が遅れたため、計画量に達しなかった。尚、進捗管理については、初年度より日報管理やミーティングに努力し取り組んだ。			
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点		3点	2点	1点
2 成果	木材生産の拡大が図られているか	<input type="checkbox"/> 図られている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部図られている	<input type="checkbox"/> 図られていない
	森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	<input type="checkbox"/> 大いに確認できる	<input checked="" type="checkbox"/> 一部確認できる	<input type="checkbox"/> 確認できない
	山地災害発生を抑制する工夫ができたか	<input type="checkbox"/> 工夫できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部工夫できた	<input type="checkbox"/> 工夫できなかった
	【プロジェクトの総括自己評価】			
配点		3点	2点	1点
	木材生産の拡大が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られている	<input type="checkbox"/> 一部図られている	<input type="checkbox"/> 図られていない
	森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	<input type="checkbox"/> 大いに確認できる	<input checked="" type="checkbox"/> 一部確認できる	<input type="checkbox"/> 確認できない
	山地災害発生を抑制する工夫ができたか	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫できた	<input type="checkbox"/> 一部工夫できた	<input type="checkbox"/> 工夫できなかった
	補足説明 モデル団地内では、8齢級以上の森林が約44%を占めることから、利用間伐が主体となる。このため効率的に素材生産ができるように林内路網整備計画（林内路網密度の整備目標を120m/haとし、平均集材距離が40m/haとなるよう路網開設を計画し、総延長21.50kmを5年間で新設する。）と密接に連動させた施業を展開する必要があったが、急傾斜地や岩石地等で路網開設が不可能な現場も多く、林業架線等を上手く活用した事業展開と高性能林業機械&現場技術者の配置についての工夫が大切であった。			
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点		3点	2点	1点
3 効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input type="checkbox"/> 得られた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部得られた	<input type="checkbox"/> 得られていない
	効率的な実施体制で推進されているか	<input type="checkbox"/> 推進された	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね推進できた	<input type="checkbox"/> 推進できていない
	積極的に民間活力を活用しているか	<input type="checkbox"/> 活用できた	<input type="checkbox"/> 一部活用できた	<input checked="" type="checkbox"/> 活用できなかった
	【プロジェクトの総括自己評価】			
配点		3点	2点	1点
	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input type="checkbox"/> 得られた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部得られた	<input type="checkbox"/> 得られていない
	効率的な実施体制で推進されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 推進された	<input type="checkbox"/> 概ね推進できた	<input type="checkbox"/> 推進できていない
	積極的に民間活力を活用しているか	<input type="checkbox"/> 活用できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部活用できた	<input type="checkbox"/> 活用できなかった
	補足説明 全ての業務を組合主体で行う事に執着するが為に、効率の悪い部分が発生するため、今後は、今以上に民間事業者や建設業者との協力も含めて検討する必要がある。			
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点		3点	2点	1点
4 妥当性	地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない
	プロジェクトの計画内容（箇所・時期等）は適当であったか	<input type="checkbox"/> 適当であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった
	期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	<input type="checkbox"/> 養成された	<input checked="" type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない
	【プロジェクトの総括自己評価】			
配点		3点	2点	1点
	地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない
	プロジェクトの計画内容（箇所・時期等）は適当であったか	<input type="checkbox"/> 適当であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった
	期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	<input checked="" type="checkbox"/> 養成された	<input type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない
	補足説明 提案型集約化施業への流れと高密度路網システム及び高性能林業機械を使った高効率低コスト林業を目指した内容を5年間で町内全域で普及啓発してきたため、団地内だけに留まらず団地外からの事業への要望も増し、今後の事業展開への礎となった。			

【フォローアップ委員会時点の自己評価】			
配点	3点	2点	1点
関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した	<input type="checkbox"/> 一部向上した	<input type="checkbox"/> 向上しなかった
選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	<input type="checkbox"/> 対応できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部対応できた	<input type="checkbox"/> 対応できなかった
上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がない

【プロジェクトの総括自己評価】			
配点	3点	2点	1点
関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した	<input type="checkbox"/> 一部向上した	<input type="checkbox"/> 向上しなかった
選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	<input checked="" type="checkbox"/> 対応できた	<input type="checkbox"/> 一部対応できる	<input type="checkbox"/> 対応できなかった
上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がない

補足説明
当該モデル団地での実績を基にした普及啓発が最重要であると位置づけ、森林所有者・地域住民に対して積極的に働きかけることが、組合員との信頼関係の強化につながり、地域の森林管理・経営の担い手として今後の組合運営を左右する重要な課題となると考える。

自己評価結果(集計)

評価集計	1 達成度	2 成果	3 効率性		
	6	7	5		7
	4 妥当性	5 発展性	合計点		
	6	7	31		38
	総合評価		フォローアップ時		5年目総括時
		B	A		

総合評価：A=現状維持すべき B=充実・拡大すべき C=要改善すべき
(配点区分：A=45~36点 B=35~26点 C=25~15点)

農林事務所 コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトリーダーである森林施業プランナーは、座談会、研修会、視察対応等を経験して企画力やプレゼンテーション能力が高まっており、森林所有者や森林技術者からの信頼が得られた。今後、中間管理職として森林組合事業推進の原動力となることを期待している。 ・森林技術者においては、向上心を持って技術の向上に取り組んでおり、今後、多様な事業地において経験を重ねて行けば低コスト作業システムの実現が可能であると思われる。 ・森林組合全体では、このプロジェクトを契機として取り組んだ林産事業の経験は大きな成果となった。この経験を基に、白川町全体の森林の管理に関する長期方針を立案し、白川町の林業振興の牽引役として活躍していただきたい。
---------------	---

プロジェクト実施者による自己総評

プロジェクト 構成員による 個別コメント	<p>プランナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均年齢が28才と言う大変若い素材生産班を編制し、機械化もグラブプル、フォワーダ、ハーベスタと取り揃えいよいよ高効率低コスト林業へ向けて、これからという状況になってきています。課題は、山積していますが、この若いチームと5年間で学んできたこと、各種研修会で知り合いとなった全国の方々とのネットワークをフル活用して『組合員のため』、『山のため』、『自分のため』一生懸命に取り組んでいます。 <p>作業道開設班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返ると失敗もあれば成功もあり、楽あれば苦もあるという試行錯誤した5年間でしたが、『プランナー』と『伐採・造材班』との意見を聞き、作業しやすく、壊れにくい道を目指して取り組みました。今後も災害に強い安全な道づくりに精進します。 <p>伐採・造材班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材価に振り回された5年間でしたが、高性能林業機械化によって作業効率がUPする喜びを感じながら取り組みました。今後も森林所有者から森林整備を行ってよかったと言ってもらえるよう懸命に取り組めます。 <p>積込・小運搬班</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業道の開設と伐採・造材班に併せた作業のため、大変忙しかった記憶ばかりです。今後は、ハーベスタを効率的に動かすためにもフォワーダ作業を安全かつ効率よく取り組みます。
----------------------------	---